



子どもたちの未来のために動き出そう

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs(持続可能な開発目標)とは?

2015年の国連サミットで採択された国際目標で、「Sustainable(持続可能な)Development(開発)Goals(目標)」の略称です。「誰ひとり取り残さない」を基本理念とし、2030年までに環境破壊や人権侵害をなくし、すべての人が豊かに暮らす世界の実現を目指しています。「Goals」は貧困や飢餓の撲滅、地球環境の保全など17分野にわたり、より具体的な目標として169のターゲットが設けられています。

山梨県内でのSDGs実現を目指し、県内の企業や経済団体、大学などと山梨日日新聞社、山梨放送は「やまなしSDGsプロジェクト」を進めています。山梨日日新聞の紙面やYBS山梨放送の番組、イベントを通して多彩な情報を発信。森林の持続的な活用を目的としたメインアクション「moritomirai(モリトミライ)」では、具体的な取り組みを展開しています。

2021年7月にスタートし、1年ごとに活動してきた同プロジェクトは第4シーズンが始まっています。今季もSDGsの考え方の普及、浸透に一層努めるとともに、山梨の地域課題である森林の持続可能性に資する活動を行っていきます。

地域課題にアプローチする、メインアクション

|モリトミライ|

moritomirai

全国で5,000人以上が体験!

広がっています



カードゲーム「moritomirai」活動報告

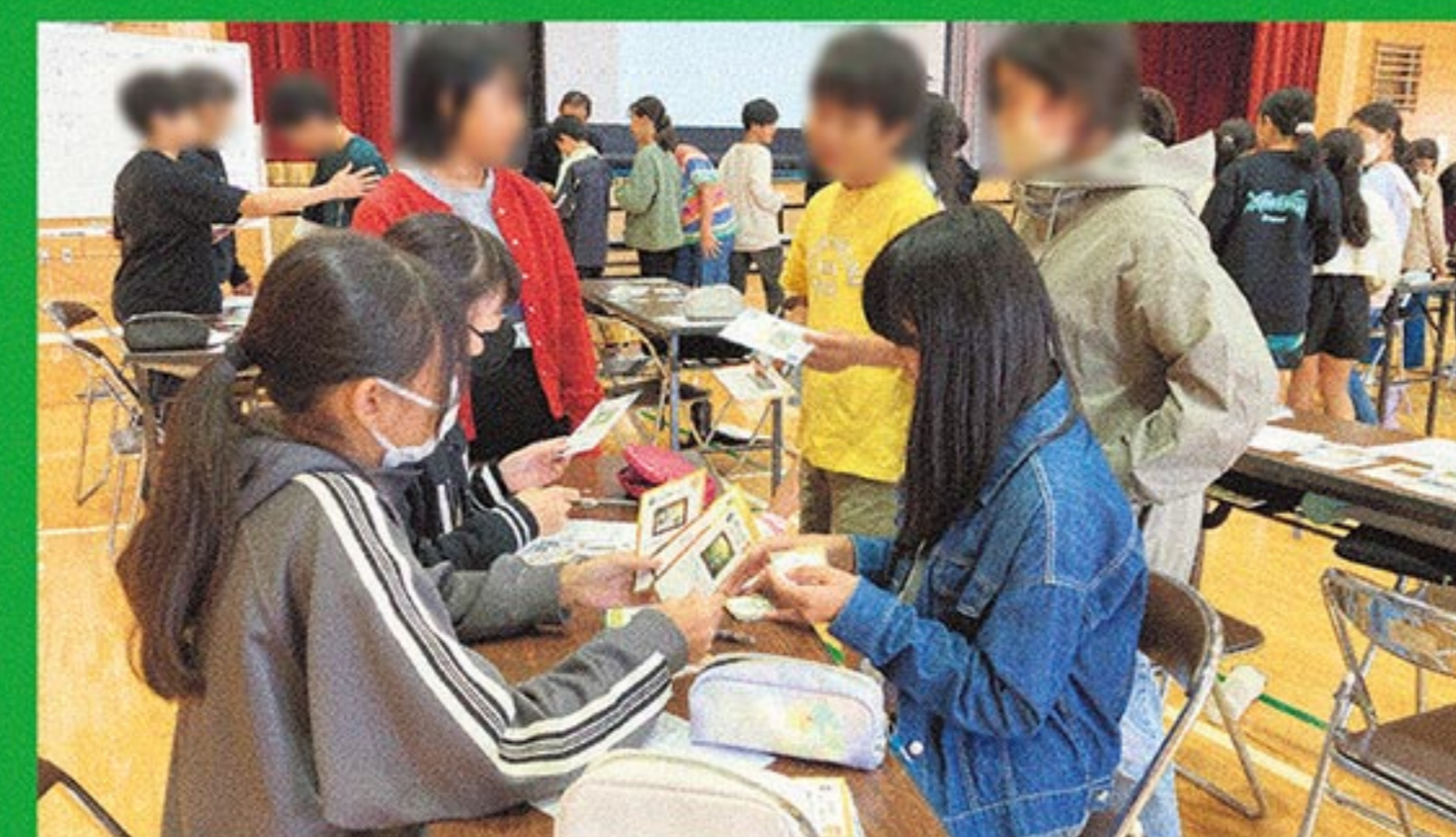
楽しみながら森林について考えるオリジナルカードゲームを学校現場や企業研修、イベントなどさまざまな場面で活用していただき、森林へ関心を持ってもらうきっかけづくりをしています。これまでに23都府県で体験会を開催し、延べ5,000人以上がプレーしています。

カードゲームの体験動画は右記の2次元コードからご覧ください。



山梨県内の学校などでも活用いただいています!

11/6 甲州市 塩山南小学校 6年生58人が体験



鮎川 凜さん: 森のためにできることを考えたり、他のチームの人たちと協力したりして、森に対する考えをもっと深めることができました。

協力: 山梨大学エコチル調査甲信ユニットセンター

11/6 甲府市 大國小学校 5年生67人が体験



櫻林 優成さん: このゲームを通じて、森や山の恵みを大切に使いていきたいと思った。カードゲームがとても楽しく、学びが多かった。

協力: NNS日本ネットワークサービス

11/7 甲府市 東小学校 5年生45人が体験



渡邊 怜香さん: カードゲームはすごく簡単で楽しかった。みんなと協力して、持続可能な森の実現したいと思った。

協力: 山梨大学エコチル調査甲信ユニットセンター

11/11 富士河口湖町 小立小学校 6年生47人が体験



川口 優愛さん: 1つの役割だけではなく、他の役割の人と協力した方が森を豊かにすることができると分かった。すべての役割の人がゴールを達成できて、とても良かった。

協力: 富士河口湖町農林課

11/12 中央市 玉穂南小学校 6年生46人が体験



小林 未歩さん: 森林やSDGsのことがカードゲームを通して、身近に感じる事ができた。それぞれの役割だけでは大きな力が生まれなかったが、みんなが協力すると大きな力になって、未来を変えることができることを学んだ。

協力: 山梨大学エコチル調査甲信ユニットセンター

11/18 甲府市 池田小学校 5年生76人が体験



窪川 智春さん: 「どんなことをしたら何がかわるか」を考えながら取り組んだ。役割になりきって、協力して森の状況を変えることができた。

協力: 山梨大学エコチル調査甲信ユニットセンター

11/26 甲府市 山梨学院小学校 4年生74人が体験



飯島 花さん: 森への愛情や管理メーターを積み上げることで、森の新しい未来につながっていくことが分かった。色々な職業の人たちと協力して、目標を達成することができた。

協力: NNS日本ネットワークサービス

その他、さまざまな活動を展開していきます!

事務局・山梨日日新聞社メディア企画局 TEL055-231-3131 (平日午前9時~午後5時)



<やまなしSDGsプロジェクト推進パートナー>

甲府商工会議所/富士吉田商工会議所/山梨県商工会連合会/山梨県中小企業団体中央会/山梨県経営者協会/山梨経済同友会/一般社団法人山梨県ニュービジネス協議会/一般社団法人山梨県法人会連合会/国立大学法人山梨大学/公立大学法人山梨県立大学